

実践事例の紹介 - 国語科 -

○小笠原志乃 末吉玲子 宮林一菜 田中麻衣

1. 小学部「国語科」単元名「ものがたりをよもう」

文責：末吉玲子

(1) 単元概要	学習形態	授業時数	実施時期
(2) 指導の流れ	5・6年	10時間	9月～11月

次	1	2	3
小単元名	14ひきのあきまつり 	読み取って発表しよう 	表現しよう 
活動内容	絵本「14ひきのあきまつり」の読み聞かせを聞く。もの名前と文字を一致させるため、イラストに注目する。また、作者のいわむらかずおや14ひきシリーズについて学習する。	各場面のイラストや文から内容を読み取り、質問に対する答えをさがす。前に出て自分の意見を発表したり、他者の意見を聞いたりする。	各々の配役を決めて「14ひきのあきまつり」の劇を行う。台詞の読み方では、声の強弱や速度を自ら考えたり、身体を使ったりして表現をする。

〈他教科との関連〉

生活科では、富士山への合宿についてや春夏秋冬の季節を探したり、植物を育てたりする学習を行っている。合宿に関連する言葉、季節を表すものや野菜の名前を調べる学習を行った。

算数科では、表とグラフで調べたり、身の回りの色々な形を見つけたりする学習を行った。表やグラフが示すものや言葉が表す形に気づけるようにしている。

音楽科では、曲を聴いてどのように感じたかを伝え合ったり、歌詞の意味を考えたりする学習を行っている。



2. 中学部「国語科」単元名「えほんをよもう」

文責：宮林一菜

(1) 単元概要	学習形態	授業時数	実施時期
(2) 指導の流れ	縦割りグループ第1班	15時間	9月～11月

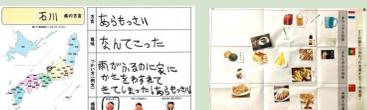
本単元では、**社会科・理科**の学習内容に合わせた題材を取り扱った。

次	1	2	3
小単元名	むかしのおはなしをよもう 「たくぞうすいなり」 ※本校付近にある伝通院を舞台とした物語 	みんなでもう 「あついあつい」 	みんなでもう 「おかいものおかいもの」 
活動内容	・「たくぞうすいなり」の読み聞かせを聞く。 ・物語の内容を問うクイズに答える。	・読み聞かせを聞いたり、音読をしたりする。 ・登場人物の心情を考え、2択のクイズに答える。 ・好きなシーンを演じる。	・読み聞かせを聞いたり、音読をしたりする。 ・絵本に出てきた絵カードを操作して、絵本の内容を実演する。
他教科との関連	社会科「身近な地域の移り変わり」 	理科「日なたと日陰」 	社会科「スーパーマーケットのひみつ」 

3. 高等部「国語科」単元名「修学旅行を“もっと”楽しもう」

文責：田中麻衣

(1) 単元概要	学習形態	授業時数	実施時期
(2) 指導の流れ	2年	12時間	9月～12月

次	1	2	3	4
小単元名・ねらい	「外来語ってなに？」 「方言ってなに？」 ・身近な言葉の由来や地域による言葉の違いに関心をもつ。	「世界遺産」「世界の宗教」(説明文) ・訪問先(大浦天主堂、グラバー園、軍艦島、ペンギン水族館、平和公園、長崎原爆資料館)を題材にした様々な文(説明文、図鑑、詩)を取り扱い、関心を深める。	「図鑑で調べよう、まとめよう」 ・ペンギンの見分け方や特徴を資料から読み取り、まとめ、発表。	「詩をつくろう」 ・自分たちにとっての「平和」を考え、詩を合作。
活動内容	・身近な外来語を伝来した国ごとに分類。家族に方言をインタビュー調査し、発表。 	・説明文を読み、問いに対して、文章から答えの根拠を取り出し、発表。 		

〈他教科との関連〉



1学期は理科(植物の発芽、成長、結実)と関連させ、野菜に関する文章を取り扱い、接続詞などを学習した。他に、現場実習に合わせて敬語や手紙の書き方などを学習している。

いずれも取り扱う文章は実態に応じて、平易な表現に変えたり、イラストを添えたり、発問を工夫したりした。友だちのリアクションが目に見えるよう、リアクション札も活用している。